

九州農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成23年 4月19日)

開催日及び場所		平成23年3月23日(水曜日) 10階会議室			
委員		松本津紀雄(弁護士) 竹下清(税理士) 藤田幹夫(ジャーナリスト) 飯村光敏(公認会計士)			
審議対象期間		平成22年10月1日～平成22年12月31日			
審議対象案件		210件 うち、1者応札案件14件 契約の相手方が公益法人等の案件2件			
抽出案件		10件 うち、1者応札案件1件 (抽出率5%) (抽出率7%) 契約の相手方が公益法人等の案件0件 (抽出率0%)			
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		5件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名 競争	公募型指名競争		0件
			工事希望型競争		0件
			その他の指名競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
		随意契約		0件	
	業務	一般競争		0件	
		指名 競争	公募型競争		0件
			簡易公募型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		0件
		随意 契約	公募型プロポーザル		0件
			簡易公募型プロポーザル		1件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			標準型プロポーザル		0件
	その他の随意契約		0件		
	物品・ 役務等	一般競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
指名競争		0件			
随意契約(企画競争・公募)		0件			
随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件			
(特記事項)					

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>I 平成22年度第3・四半期入札方式別発注状況について</p> <p>意見・質問なし</p>	
	<p>II 抽出工事及び業務並びに物品・役務等契約について</p> <p>1. 工事</p> <p>(1) 平成22年度筑後川下流左岸農地防災事業中木室3号線(下牟田口工区)工事</p> <p>・執行調書を見ると予定価格と入札額に開きがあるが、その額で発注した場合、手抜き工事は起こらないのか。</p>	<p>・今回の工事は、単純な工事であり、工事数量表も提示していることから、積算し易いものとなっています。これまでの同じ内容の工事を見ても落札率は、85%ぐらいとなっており、十分施工できる額だと思われます。また、直接工事費等それぞれの費目ごとに所定の率を乗じた額を調査基準価格として設定しており、工事実施に最低限必要な額は確保されています。</p>
	<p>(2) 平成21年度筑後川下流左岸農地防災事業岩神線(久未その2工区)工事</p> <p>・評価点の内訳については、公表しているのか。</p> <p>・評価点のうち施工計画の点数が高いところが落札しているようだが、その採点は、1年間を通して同じ者が行っているのか。</p>	<p>・公表しています。</p> <p>・1年間を通じて担当原課の課長補佐、設計課技術審査官及び土地改良技術事務所の技術指導官の3名で評価し、技術審査会で審議し決定しています。</p>
<p>(3) 筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業白石導水路白石東調圧水槽建設工事</p> <p>・熊谷組の評価点のうち企業評価が0点となっている理由は。</p> <p>・工事の実績を重視するのか。</p> <p>・評価点の基準はどこで作成するのか。</p>	<p>・熊谷組の企業評価は、採点基準を基に採点すると加点部分がないため、0点となっています。</p> <p>・今年度より施工計画の点数割合を増やし、工事実績よりも技術提案を重視し、新規参入の業者でも受注できるよう考慮しています。</p> <p>・各地方農政局の意見を踏まえて、本省の担当部局で作成しています。</p>	

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問 それに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> ・入札額が高いところでも、落札できるということか。 ・評価点のうち企業評価点が0点の場合は、落札することはできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に評価値で判断するため、評価点によっては、入札額が他と比較して高くても落札できます。 ・施工計画で高得点が採れれば十分落札の可能性はあります。
	<p>(4) 平成22年度尾鈴農業水利事業切原ダム堤体観測システム工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札執行調書の場所の事業所名の後に(電子入札)と記載されているが、この入札に限り電子入札しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則電子入札で行うこととしており、ほとんどが電子入札で行っています。入札執行調書の記載方法を統一する様に検討します。
	<p>(5) 平成22年度国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業南部九州地域防災情報ネットワーク機器製作据付工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応札者が少ない理由は。 ・1社1回目の札入れ前に無効となっている理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気通信関係の工事は、対応できる業者数が少ないこと、また本工事は、他社が製作したシステムに追加する工事であることから、難度が高く応札者が少なかったのではないかと思います。 ・入札前に提出願っている工事内訳書の計算が間違っていたため、無効となっています。
	<p>(6) 平成22年度筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業佐賀西部導水路白石線(小島工区)暗渠排水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高い理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・額的に小さな工事で、工事内容も単純なため、積算しやすく予定価格に近い数字で札入れができたためだと思います。
	<p>2. 業務 (1) 平成22年度尾鈴農業水利事業切原ダム施工結果とりまとめその他業務</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>(2) 平成22年度福富海岸保全事業堤防変位測量業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が低い理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・測量業務は、人と測量機器があれば実施できるため、受注機会を得るため価格を下げたのではと思われます。

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>3. 物品・役務等</p> <p>(1) 平成22年度都城盆地農業水利事業技術資料電子化(その2)業務</p> <p>・本業務のような、類似の電子化業務はあるのか。</p>	<p>・類似の業務はあります。最近は業務等の成果は電子納品となっているが、以前は紙媒体による納品となっており、事業完了時の資料管理のため電子化することとしています。</p>
	<p>(2) 平成22年度国営干拓環境対策調査水生生物を活用した調整池水質保全対策検討委託事業(第1回変更)</p> <p>・特命随意契約となった理由は。</p>	<p>・この委託事業は、水質分析等に関する専門的知識、国営諫早湾干拓事業の地区周辺や調整池の特性に精通していることが重要であることから、事前に長崎県と取決めを行い、平成18年8月25日付け、財務大臣通知「公共調達の適正化について」の「随意契約によらざるを得ない場合」に基づき随意契約を行っています。</p>
	<p>Ⅲ 再度入札における一位不動状況について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>Ⅳ 指名停止について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
[これらに対し部局長が講じた措置]	なし。	

事務局：九州農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所用の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人又は公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。